

第3回よっちゃんばれ放談会 要旨

日 時	平成27年11月16日(月) 午前9時30分～午前11時30分
会 場	市立図書館 1階 会議室1
参 加 者	放課後児童クラブ支援員 児童館厚生員 雅の会(ボランティア団体) 教育支援ボランティア 放課後子供教室代表者
市出席者	市長、福祉部長、福祉総室長、子ども家庭支援室長、児童保育課長、児童育成課長、教育総室長、生涯学習室長、学校教育課長、生涯学習文化課長、市民対話課長
次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 意見交換 4 まとめ 5 閉会
意見交換	
子ども家庭支援室長	それでは、意見交換会に入りたいと思います。 最初に参加者Aさんからご意見をいただいてよろしいでしょうか。
参加者A	私達支援員も学生時代や現職だった頃からだいぶ遠ざかっていますので、放課後児童クラブの質の向上のためにも引き続き研修や講演会をお願いします。 また、支援員になってもいろいろな事情や都合で辞める方も多く、人員もすぐには決まらないのが現実です。働く身として安心して休める、代わりの信頼できる先生が来て下さるということは子どもにとっても重要なことだと思います。一度辞めた方、または毎日は勤められないが突発的な対応の時に数時間は働けるといふ方の登録制度的なこともあると私達も安心して、より一層一生懸命働けると思います。
市長	Aさんをはじめ、放課後児童クラブ支援員の皆様には、日頃から児童クラブの運営を通じて、本市児童の健全育成にご尽力いただき、改めて感謝申し上げます。 児童が帰宅してもご家庭の事情により保護者が家庭にいない児童に、皆様方の目配りや気配りにより子ども達の健全な育成に皆様のお力が支えてくれているとひしひしと感じております。支援員の皆様を対象とした研修

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>については、ノロウィルスの対応や接遇研修等を開催しているところですが、山梨県とも連携を図り、今まで以上に研修の充実に努めてまいりたいと思います。</p> <p>また、学校との連携も今後ますます重要となってまいりますので、教育委員会や学校の先生と協調を図る中、事業を推進していきたいと思います。</p> <p>支援員の配置数等につきましては、支援員の皆様の病気等、突発的な状況の折には、各児童館に配置している流動職員で対応しているところですが、病欠等が長期に及ぶ場合は、支援員OBなどの経験者を臨時的に任用する中で対応を図ってまいりたいと思っておりますし、今まで以上に行政がマッチングする役割を強化して参りたいと思っております。</p> <p>次に、参加者Bさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>参加者B</p>	<p>保護者の方の放課後児童クラブに対する要望も多様化しております。また、特別に配慮が必要な児童もいます。保護者の方が安心してお子様を預けられるように、また、子ども達が安全に楽しく過ごせるように、私達も日々工夫をしておりますが、児童や保護者にきめ細やかな対応が出来るように必要に応じて職員を増やせるようなシステムを作っていただければありがたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>各放課後児童クラブにおきましては、児童が楽しく過ごすことができますよう、指導に当たられていることと存じますが、子どもに遊びを教える等のスキルについては、山梨県児童館連絡協議会などでも支援員を対象とした研修を昨年度から増やしているとのことですので、情報も提供させてもらいながら、機会がありましたら積極的に参加していただき、指導内容の充実に努めていただければありがたいと思います。</p> <p>また、配慮が必要な児童の対応につきましては、本市の保健師や学校の先生と、より緊密に協調、連携を図っていただきながら相談を行っていただければと思いますし、支援員の加配を含めた対応につきましても、可能な限りお話しを伺いたいと思っております。</p>
<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>次に、参加者Cさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>参加者C</p>	<p>私が理想とする「放課後の子どもの居場所づくり」とは、保護者が安心して就業できるように、保護者や学校並びに行政間での情報を共有してほ</p>

<p>市長</p>	<p>しいことです。</p> <p>また、本年度、国の制度改正に伴う全学年導入については、低学年の人数増加により4年生以上の受け入れが困難な状況のクラブもあり、保護者の意向に添えないのが現状です。児童館の場所が遠くても、学校や自宅周辺に児童館に準ずる施設等が存在すれば突発的な事由で利用したい家庭にとっては有意義なものだと思います。</p> <p>Cさんのおっしゃるとおり、保護者が安心して就業できるように、保護者や学校並びに行政間での情報を共有することは大変重要であると考えます。放課後児童クラブは基本的に小学3年生までの児童につきましては、各小学校に開設しているクラブで受け入れを行っており、高学年児童は身体の大きさや行動範囲が異なることから、幼稚園や保育園等の社会資源を活用する中で、民間委託による受け入れをお願いしております。今後、開設クラブも年次的に拡充を行うとともに、学校や自宅の近くにクラブがない場合の対応として、バス送迎を行ってくれるクラブの増設を予定しております。こうしたクラブの活用に加え、保護者の突発的事情により児童のお預かりが必要な場合には、ファミリーサポートセンター事業やショートステイ事業など、効果的な子育てサポート事業も実施しておりますので、是非ご利用いただきたいと思います。</p>
<p>子ども家庭支援室長</p>	<p>次に、参加者Dさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>参加者D</p>	<p>本来「子どもの居場所」は家庭であるべきだと思います。またそうあってほしいと願っています。しかし、児童をとりまく家庭環境は複雑になっていて、児童館を自分の行き場として利用し、悩みなど相談にくる児童・生徒がみられます。</p> <p>児童館の大きな役割は、子ども達の健全育成であり保護者との信頼関係はもちろん子ども達との信頼関係が大切であり、今後ますますその必要性が求められます。</p> <p>また、雇用年数に制限があり、資格と経験を生かし、働く意思はあっても継続できない状況にあります。このような状況を考えて、雇用期間の見直しの検討をするなど職場環境の改善と充実、強化がよりよい「子どもの居場所」づくりには必要だと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>Dさんのおっしゃるとおり、「子どもの居場所」は家庭であるというご意見に私も共感いたします。</p> <p>各ご家庭の環境やライフスタイルの多様化が進んでおりますから、事業</p>

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>の運営に当たられる厚生員の皆様に求められる役割も一層大きくなっており ますので、他都市の児童館等とも情報交換やスキルを共有しながら、的 確な対応を図っていきたいと思います。</p> <p>雇用期間の延長ですが、通常の嘱託職員の雇用につきましては、継続し て5年を超える雇用ができませんけれども、児童館厚生員や放課後児童ク ラブの支援員は業務の特殊性や児童に遊びを教える、指導を行うといった 高いスキルを求められることから10年まで期間延長を行ってところであ ります。他の職種の嘱託職員とのバランスも考慮する必要がありますので、 本日はご意見を受け止めさせていただき、持ち帰らせていただきたいと思います。</p> <p>次に、参加者Eさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>参加者E</p>	<p>児童クラブでの読み聞かせや環境紙芝居等、私のボランティアの原点と なり早10年になりました。折り紙をしたり、クイズをしたり児童とのふ れあいは、とても楽しく学ぶことがたくさんありました。私たちおじい ちゃん、おばあちゃん世代が、孫世代に関わっているということが、子 ども達には新鮮でいきいきと話しをしてくれたり、迎えてくれます。外から の訪問をととても楽しみにしております。</p> <p>児童クラブでは、上級生が下級生の面倒をよく見ていますし、子ども達 もクラブに来ると宿題をしたりそれぞれが自分のことをしており感心しま す。</p> <p>折り紙、朗読、クイズ、紙芝居等のふれあいや、年に2回カレーを作り、 食事会をしたりとても充実した10年を過ごしてきました。</p> <p>さて、この度、雅の会も新しい会長になりF会長さんもいますので、会 長からもお話しをさせていただきます。</p>
<p>参加者F</p>	<p>雅の会では、子ども達に良い本を読み聞かせたいということで、放課後 児童クラブで読み聞かせをはじめ10年目となりました。</p> <p>最近、核家族の多い中、時代を担う子ども達に「おばあちゃん」とし て家族の大切さ、そして何よりも子ども達の笑顔を見たい、子ども達との ふれあいを通して会員も成長していきたいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>E特任顧問、F会長さんをはじめ雅の会の皆様方には、10年にわた って放課後児童クラブや学校において、本の読み聞かせや歌やゲーム、夏休 みなどは長い時間子ども達と過ごしていただいて、様々な情操教育を与 えていただいておりますことに厚くお礼申し上げます。</p>

	<p>また、加えて環境教育や防犯についての啓発活動も積極的に行っていた だいておりますことも聞いております。この場をお借りいたしましてお礼 申し上げます。</p> <p>ご意見にもございましたけれども、核家族化で運動会や入学式、卒業式 には遠くからおじいちゃん、おばあちゃんが来ることはあっても、日常的 に接する機会がないお子さんが非常に多いわけでありまして。お父さんやお 母さんがいて、その上にそのお父さんやお母さんがいて、そして今僕たち がいるという、その尊さを遊びや読み聞かせという形に変えてお教えいた だいておりますことに感謝申し上げます次第でございます。</p> <p>これからもF会長さんの体制の元、様々な活動を他の児童クラブや学校 にご協力やご支援をいただきますことをお願い申し上げます次第ございま す。</p>
子ども家庭 支援室長	<p>次に、参加者Gさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
参加者G	<p>私はスポーツ少年団に属しておりまして、子どもの体力低下というもの をいつも感じております。保育園にいる頃から身体を動かす子ども達を増 やしたい、スポーツを通じて子ども達の健康維持を向上したいと考えてお ります。子ども達の身体を向上させるような施策などがないかなと思って おります。</p>
市長	<p>私もどこかで言うタイミングがあればと思っていたのですが、放課後児 童クラブは大切な活動ですけれども、子ども達が外で遊ぶということにも 目を向けていきたいと思っております。</p> <p>もちろんスポーツ少年団もありますことから、少子化で加入が鈍ってい るような状況もございますけれども、指導いただく先生方も熱心にしてい ただいておりますので、スポーツ少年団活動のアピールにも力を入れてい きたいと思っております。</p> <p>放課後児童クラブに児童の面倒を見ていただいておりますが、行政とい たしましてもスポーツ活動の推進を更にバックアップしていけるように努 力していきたいと思っております。</p>
子ども家庭 支援室長	<p>次に、参加者Hさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
参加者H	<p>私は新田地区に住んでいますが、最近は外遊びをしている子どもをあま り見かけません。見守りボランティアをしている立場からみれば、安心感</p>

	<p>がありますが、果たしてそのままで良いのか疑問に思うことがあります。</p> <p>西公民館には、池田小学校の放課後児童クラブが併設されているので、新田地区の子ども達が遊びに行くこともあったと聞きましたが、池田小の児童が多いため児童クラブが手狭になっている感じがします。</p> <p>また、新田地区育成会では、県民の日や学校の創立記念日に子ども達を連れて、バスで出かける事業を実施しておりますが、子ども達はとても楽しそうにしています。また、夏休みの夏祭りやラジオ体操、池田公園の清掃活動にも積極的に参加してくれます。この様に、子ども達が地域の行事に参加する機会があれば、事件に巻き込まれることもないのではないかと思います。</p>
市長	<p>Hさんのおっしゃるように、昨今、外遊びをしている児童を見かけなくなってきましたが、本市では、各地区の育成会や子どもクラブ活動の中で、夏休み期間中に球技大会やキャンプ研修を毎年実施しておりますので、今後も多くの子ども達が参加できるような環境を整備していきたいと思えます。</p> <p>先ほど、池田公園の清掃活動の話が出ましたが、国母地区でも荒川の河川清掃が予定されております。河川清掃には学校の先生や保護者、育成会等子どもにかかわる団体や多くの子ども達が参加するため、池田公園の清掃活動と同じような取り組みをしていると思えますが、あらゆる機会を通じて、子ども達と外でふれあうことは、大切であると考えておりますので、このような事例を参考にしながら市政を進めて参りたいと思えます。</p> <p>また、ご指摘いただいた児童クラブが手狭である等様々な問題についても、一つ一つ解決に向けて努力していきたいと思えます。</p>
子ども家庭支援室長	<p>ここで休憩をとりたいと思えます。</p>
子ども家庭支援室長	<p>それでは、意見交換会を再開いたします。参加者Iさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
参加者I	<p>私は、子ども達の健全育成にとって大切にすべき視点として「知・心・体」を育む視点、学校のみならず地域で協力して子ども達を育てる視点、子ども達が積極的に地域を知り、学ぶことができる機会の充実を図る視点があると考えますが、これらの視点を踏まえ、次の3点について提案したいと思います。</p> <p>まず第1点目は子ども達が学校で学んだことを振り返り、教え合い、お互いに学び合うことの出来る場の設置を提案します。私が小中学生だった</p>

頃の経験として、放課後に学校で学んだことを友人と話し合ったり、教え合ったりすることがよくありました。その時に、自分の住んでいる地域にもこのような場所があったらいいなと考えることがあったため、提案したいと思います。

次に2点目は、放課後の時間を利用して地域の歴史や伝統を子ども達に伝える場の設置を提案します。私自身の経験として、学校において地域の歴史や伝統にふれる機会は多々ありましたが、放課後そのような機会はあまりありませんでした。子ども達の中にも、自分達の地域をよく知らない子どもが多くいます。そのため、放課後の時間を利用して、地域住民の方による地域の歴史や伝統を子どもたちに伝える場を設置することが大切になってくると思います。このような機会を設けることで、子ども達が地域についての知識を深めるだけでなく、大人になった時に自分が住んでいた地域は良かったなと感じることができるのではないかと思います。

次に3点目は、子ども達が伸び伸びと遊ぶことが出来る場の設置を提案します。最近、外で元気よく遊ぶ子どもが減っていると言われていています。これには、都市化などによって子ども達の遊ぶ場の減少やゲーム機器などの登場が考えられますが、私が教育実習や教育ボランティアなどで学校にいる時には、休み時間や昼休みは、伸び伸びと外で遊んでいる子ども達をたくさん見かけます。その子ども達に「放課後は何をして遊んでいるの?」と聞くと「ゲームをして遊んでいるよ」とか「テレビを見て過ごしているよ」という答えをよく耳にします。このような答えを聞くと、子ども達には放課後の時間も学校の休み時間や昼休みのように伸び伸びと遊んで欲しいと思います。外で元気よく遊ぶことは、元気で健康な体をつくることだけでなく、仲間とのコミュニケーションのとり方や子ども達の発想力を豊かにすることにも繋がるのではないかと思います。

市長

知・心・体を育む教育は、まさに教育の根幹をなす視点であり、現行の学習指導要領の目指す考え方と同じですね。

特に、道徳的実践力を育む「心」の部分は、学校のみならず、地域社会の中で育まれるものです。毎年行われている全国学力状況調査では、地域の行事に参加し、様々な生活の実体験を積んでいる児童生徒と、そうでない児童生徒との間の学力に相関関係が見られると聞いております。

今回ご提案いただいた「地域住民の方々との交流」は、地域のすばらしさを実感することができる絶好の機会だと考えています。子どもにとって、最も身近な生活の場は地域であり、地域の人と触れ合いながら成長していくことが理想です。また、「甲府市子どもクラブ指導者連絡協議会」や「青少年育成甲府市民会議」では、地域の子どもは地域で育てることを実践するため、地区指導者の育成やジュニアリーダー研修などの活動を行ってお

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>ります。各地区には21世紀のまちづくり協議会があり、地域の寺社仏閣を回って歴史や文化を学び、自治会の総会資料などに説明を記して掲載するなど様々な取り組みを行っております。例えば、小学校低学年の子どもさんが、一人で寺社仏閣に行くのは難しいことですので、ジュニアリーダーの方に間に入ってもらい、子ども達と寺社仏閣を周遊する取り組みを行っております。また、12年後のリニア開通に向けて、子ども達と未来のまちづくりについて語ることもできますので、今後も学校、地域、家庭との連携を深めていきたいと思っております。</p> <p>次に、参加者Jさんご意見をいただいておりますでしょうか。</p>
<p>参加者J</p>	<p>私は現在、湯田地区に住んでおり、母校である湯田小学校で教育支援ボランティアとして活動しておりますが、私達が小学生だった頃に比べ、外で遊ぶ子どもを見かけなくなった気がします。理由としては子どもの数が減ったことや子どもを狙った事件などが起こり、外で遊ぶのが危険に感じるようになったことなどがあると思っておりますが、地域の方々と触れ合う機会そのものが減っているのも一因であると思っております。</p> <p>私が教育支援ボランティアとして学校に行くと、特に高学年の子ども達は、心理面で大人になってきていますので、私達のことを自分のお父さんお母さんよりも若くて世代が近いお兄さん、お姉さんのような存在として認識してくれるため、気軽に心を開いてくれます。</p> <p>子ども達が、私達の世代を含めた地域の幅広い世代の方々と触れ合うことができる機会があればと思い、そのような場の設置を提案します。</p>
<p>市長</p>	<p>先ほどのIさんからも同様なご意見がありましたが、昔と比べて外で遊ぶ子ども達の姿が少なくなったことは、子ども達を取り巻く社会の変化が大きく影響しております。全国各地で子ども達を巻き込む痛ましい事件、事故が発生しておりますが、本市ではこのような事件、事故は絶対に起こしてはならないと肝に銘じ、日頃から行政や教育委員会が連携して取り組んでいます。</p> <p>また、現在本市で進めている「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト」では、家庭・学校・地域・行政などが一体となり、「こども最優先のまち創り」を効率的かつ効果的に推進していこうと考えているところです。ご提案頂きましたとおり「地域の方やお兄さんお姉さんと触れ合う」ことは、大変有効であると考えております。</p> <p>学校にとって学生の皆さんの「若さ」はエネルギーそのものですから、皆さんのような教育支援ボランティアに、学校現場に来て頂き、子ども達</p>

	<p>の学習や生活のサポートをしてもらうことで、学校現場の活性化だけではなく、教職員にとっても子ども達にとっても大変良い刺激になりますので、引き続き、皆さんのような「若い力」で甲府市を盛り上げて頂きたいと思います。</p> <p>ご提案いただきましたIさん、Jさんには是非とも素晴らしい先生になっていただきたいと思います。</p>
子ども家庭支援室長	<p>ただいま樋口市長から、素晴らしい先生になっていただきたいとの意見がありました。みなさんどのような先生になりたいですか。</p> <p>それでは、参加者Kさんお願いします。</p>
参加者K	<p>私は来年度から小学校教諭として採用される予定ですが、子ども達一人一人の良さを生かすような教員になりたいと思います。そのためには、一人一人の好きなことや育ってきた過程を把握し、理解することが大切ですので、子ども達の立場に立った指導、教育をしていきたいと思います。</p>
市長	<p>大変心強いご意見をいただきました。ありがとうございました。</p>
子ども家庭支援室長	<p>それでは引き続き、Kさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
参加者K	<p>私は、放課後の子ども達の健全育成にとって、次の3つの点が大切であると思います。</p> <p>一つ目は遊び場づくりです。子ども達は、平日も休日も体を使ったり友達と群れて遊んだりすることが不十分であり、習い事などを放課後にしている子どもも多く、遊ぶ時間や遊ぶ空間が減ってきているため、放課後児童クラブや児童館などを活用し、放課後に体を使って群れて遊ぶ活動を積極的に取り入れるとよいと思います。</p> <p>また、このような施設で地域の人材を活用することも大切だと思います。例えば、地域の大学生（教育系、保育系）を招いて、群れて遊べる色々な遊びを提案してもらうということもよいと思います。そうすることで、大学生にとってもプラスになりますし、子ども達にとっては他の学年の子ども達と遊ぶきっかけになるなど遊びを学ぶこともできると思います。</p> <p>二つ目は学習環境づくりです。子ども達の中には塾に通っている子どももいますが、放課後に家で学習する子ども、放課後児童クラブや児童館で学習する子どもが大半ですので、学習できる静かで落ち着いた空間が必要だと思います。また、家庭環境も様々ですので、家では集中して学習できない子どももいると思います。一人一人が集中して学習に取り組むことが</p>

できたら、次は苦手なところ、分からないところを教える人がいるといいと思います。既に行われているところもあると思いますが、大学生や元教員の方を招いて、小さな塾のような形式にするのも効果的だと思います。経済的に塾に通えない子どもも、地域にこのような人材がいることで、学習する姿勢も変わると思います。また、図書館などにも、小学生の学習スペースがあればいいなと思います。私の地域の図書館は、中学生以上しか学習スペースがなく、小学生の頃どこで勉強しようかと困ったことがありました。小学生に静かに勉強することをルールとして設けながら、小学生を対象とした学習スペースがあればよいと思います。

三つ目はほっとできる場、ふれあいの場づくりです。最近では、子どもの時間・仲間・空間が色々な原因で減ってきているため、自らを解放しほっとできる、学校でも家でもない「第三の場所」が地域に必要なだと思います。第三の場所は、例えば、児童館などで大人の見守りはあるけれど、一定の距離が保たれているような場所であり、その中で子ども同士がトラブルにならないような配慮をしながら、本を読んだり遊んだり、友達とおしゃべりしたりする自由な場があればよいと思います。

また、ふれあいの場としては、子ども同士だけでなく、小さい子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方がふれ合う場として活用します。年齢が低い子ども達とのふれあいでは、子育て支援との連携にもなりますし、小学生以上の子ども達が、自分にできることを考えることに繋がると思います。また、お年寄りとのふれあいに関しては、遊びを教えてもらったり、勉強を見守ってもらったり、読み聞かせをしてもらったりなど、あらゆることで関わって欲しいと思います。様々な年齢の人を放課後の子ども達がいるところに集めたり、催し物をしたりすることで、今の子ども達に足りないふれあいの体験を増やすことができるのではないかと考えます。

市長

今日来ていただいている4名の大学生をはじめ、現在、本市の小中学校には、「教育ボランティア」として、約150名の大学生に子ども達の学習支援や遊び相手をして頂いております。

学校の先生方や子ども達からは、ボランティアの学生さんに、もっと学校に来て欲しいという要望も聞いています。今回頂いたご意見は、放課後に子ども達が集まる場で、大学生の力を活用して下さいという言葉だと受け止めました。本当にありがとうございます。

児童館、放課後児童クラブなど既存の施設を活用した学生ボランティアの方々の活動について、是非とも検討して参りたいと思います。

また、学習できる静かな落ち着いた環境の必要性、経済的に塾に通えない子ども達に対して大学生や教員OBの力を使ったらどうかというご提案については、今まさに必要とされていることであると思います。

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>ご指摘のあった「時間」「仲間」「空間」の減少は、いわゆる「さんま（3つの「間」）の減少」と言われ、子どもの健全育成を支える環境がなくなってきたことを示していると思います。</p> <p>ご提案いただいたとおり、今後学校でも家でもない「第3の場所」を意図的に作り出すことが求められてくることもあるかもしれません。</p> <p>Kさんをはじめ、様々な考えに耳を傾けて参りたいと思います。</p> <p>次に、参加者Lさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>参加者L</p>	<p>子ども達の健全育成のためには「学ぶ力」も必要ですが、それよりも私は「遊ぶ力」が大切であると思います。私は下校ギリギリまで遊ぶ子どもでしたが、それでも遊び足りなかったことを覚えています。子ども達には放課後に思う存分遊んでもらいたいと思いますが、ここで考えなければならぬのが下校時の安全確保です。子どもの視野は狭く、周りが見えないために、大きな事故に繋がる恐れがあります。従って、下校ギリギリまで遊んでいる子どもに対して、先生方に下校指導をしていただきたいと思えます。</p> <p>また、地域の取組みとしては、下校中の子ども達に対して、買い物帰りの奥様や散歩中の地域の方々から声かけをしてもらいたいと思います。子ども達が下校時に道でふざけると事故に遭う危険もあることから、子ども達には、我慢すべきときは我慢することを教える必要があると思います。</p> <p>次に、学校の体育館を子どもの放課後の遊び場として活用することです。体育館は普段体育の授業でしか使用しませんが、バスケットやバレーなど体育の授業以外に使うものがたくさんあります。子どもは好奇心旺盛ですので、体育館が使えれば嬉しいはずですし、今まであまりやったことのないスポーツをすることによって、体の違う部分の使い方を覚えることや多くのスポーツを経験させる意味でも、健全育成が図れると思います。さらに、学校にとっても現在ある施設の活用が図れるほか費用負担も少ないため有効であると思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ただいまのご意見は、Iさんのご意見にあった「知・心・体」のなかの「体」に繋がるものであり、「遊ぶ力」を育むことも非常に大切なことだと思えます。</p> <p>本市でも、全ての地域で自治会や老人クラブの方々を中心となって登下校時の見守り活動を行っており、そのおかげで登下校時の大きな事故は皆無でありますので、今後も継続していただきたいと思えます。また、子ども達に登下校時にふざけないよう我慢することを教えることも必要でしよ</p>

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>うし、スポーツ少年団、特に武道などは我慢の精神を大切にしますので、スポーツを通じて、我慢することを教えていただきたいと思います。</p> <p>Ｌさんはスポーツマンにお見受けしますが、Ｌさんが学校でスポーツを教えることにより、子ども達も憧れると思いますので、今後も子ども達にかかわっていただきたいと思います。</p> <p>また、本市の放課後児童クラブも学校の余裕教室を活用しておりますので、ご意見いただきました、遊ぶ力を育むためには、子どもの安全を確保し、子どもにも自覚させることが重要であるとともに、支える側の人員確保という課題も伴ってきますので、みなさんのような教育支援ボランティアの存在は欠かせません。</p> <p>学校施設の弾力的運用については、今後も検討して参りますが、その際にはぜひみなさんのお力を貸してください。</p> <p>次に、参加者Mさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>参加者M</p>	<p>これまで、お話しされた学生さんたちの意見に胸がいっぱいになっています。</p> <p>私達の「新紺屋いきいきスクール」は新紺屋小学校の中にあり、講師に来てもらって年間40回程度の教室を開催したり、地域の方に来ていただき、読み聞かせや工作をしていただくなどの活動を行っています。</p> <p>先ほどの学生さんの話にもありましたが、子どもたちは体を動かすことが大好きです。私たちも一緒に遊ぶこともあります。体力的にきつかったりするので、是非学生さんたちに手伝いに来て欲しいです。</p> <p>そういった意味では今日、学生さん達にお会いできたことは本当に光栄です。先ほど皆さんからご提案いただいた施設も私たちのところにありますので、是非手伝いに来てください。</p> <p>また、今後は市のモデル事業として、放課後児童クラブと放課後子供教室を一体化することになっており、運営については会議、検討を行っていくことになっていますが、どのようにしていけばよいのか不安な面があります。</p>
<p>市長</p>	<p>まず、放課後子供教室の担い手でありますボランティアの皆様に対しまして、日頃から献身的なご尽力に対し心より感謝申し上げます。</p> <p>放課後子供教室は、地域の皆様の協力があってこそ実施可能な事業であり、計画的な整備を進めるために、行政は施策として何ができるのか、何が必要なのかを検討している最中であり、次年度以降の施策に反映させて参りたいと思っています。</p>

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>先ほどお話がありましたように、放課後児童クラブと放課後子供教室の一体化については、パイロット的に進めている訳ですが、放課後児童クラブでお預かりしている児童が、教室で行う貴重な学習機会に参加したり、地域の皆さんとの交流ができるよう取り組んで参りたいと考えています。</p> <p>また、ご意見いただいた、学生とのマッチングについても検討をしていきたいと思えます。子供教室においては、実施場所の確保、ボランティアの協力が、安定した継続性のある教室運営には不可欠であります。子供教室をはじめ、子どもを生み育てる良好な環境の整備を図れるよう取り組んでいきますので、今後も是非ご協力をお願いいたします。</p> <p>次に、参加者Nさんご意見をいただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>参加者N</p>	<p>私は、国母小学校地区において、空教室を活用し、「国母おひさま放課後子供教室」を開設しております。私は、明るく、楽しく、元気で仲良くをモットーにしていますが、その他の決まりはなく自由な雰囲気づくりを心がけています。</p> <p>今日は第3回目のよっちゃばれ放談会ということですが、第4回目もあるのでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>第4回目のよっちゃばれ放談会は、来年2月に公募による開催を予定しています。</p>
<p>竜沢</p>	<p>わかりました。</p> <p>今日は、貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。</p>
<p>市長</p>	<p>Nさんの行っている、子ども達の自主性を大切にする取り組みに感謝と敬意を称する次第であります。</p> <p>子ども達の健やかな健全育成のためには、学校はもちろんですが、地域のボランティアの方々の支援が必要不可欠であります。今日皆様からいただいたご意見は、人材の充実、ネットワークの確立、環境の整備が共通事項でありましたので、いただいた貴重な意見は、今後の市政に反映していきたいと思えます。</p> <p>学校、地域、家庭の連携が重要であること、そしてそれらを繋ぎ合わせ支援していくのが行政の役目であると思えます。放課後児童クラブや放課後子供教室のニーズは今後益々高まっていくと思えますので、行政としましても皆様の活動が円滑に進むよう取り組んでいきたいと思えます。</p>

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>多くの貴重なご意見をありがとうございました。予定の時間を若干過ぎてしまいましたが、これで意見交換会を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>まとめ</p>	
<p>市長</p>	<p>本日は、長時間にわたりおつかれさまでした。皆様からいただいた貴重なご意見は、しっかりと受け止め、様々な角度から検証し、施策に反映させながら子ども最優先のまちづくりに邁進していきたいと思えます。</p> <p>皆様方におかれましても、これまでと同様にそれぞれのお立場で市政をサポートしていただき、その過程で不具合が生じた場合は、その声を私たちに届けていただきたいと思います。</p> <p>最後に、皆様から貴重なご意見等をいただきましたことに重ねて御礼申し上げます。私の挨拶にかえさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>